

新年度に向けて
年度末からごみの削減を

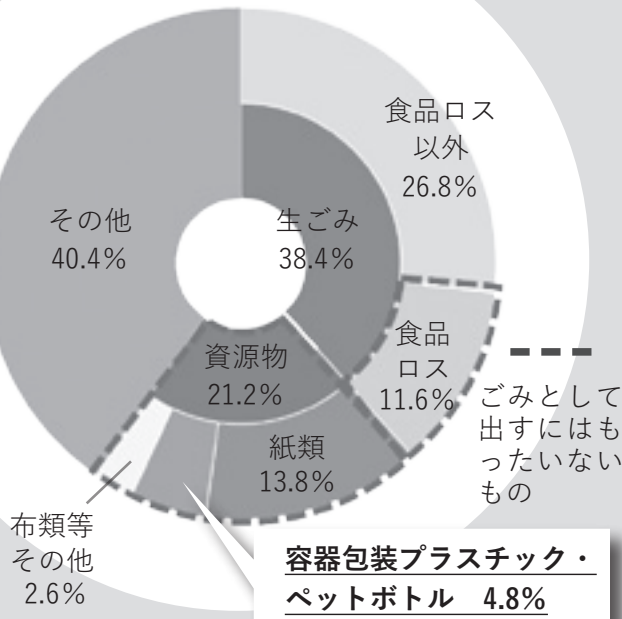
ごみを減らして つなぐ未来

●問い合わせ 環境業務課 (☎47-1096 ☎40-1335)

松本市の令和2年度におけるごみの総排出量は、8万7,292トンです。これは、1人1日当たりの排出量に換算すると、1,004グラム。1人1日当たりのごみ排出量が全国で最も少ない長野県(令和元年度816グラム)において、**松本市は県内19市の中で最も多いのが現状です。**

家庭から排出される可燃ごみの中には、ごみとして出すにはもったいないもの(資源物等)がたくさん混入しています。

【令和元年度 家庭から出る 可燃ごみの内訳】



ゼロカーボンシティへの第一歩!

ごみの分別

家庭から出る可燃ごみの中には、焼却すると温室効果ガスが発生するプラスチック類(資源にできる**容器包装プラスチック**や**ペットボトル**)も約5パーセント含まれています。地球温暖化は、全世界の問題です。2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、まずは身近な「ごみの分別」から実践しましょう!



◀市の「地球温暖化に対する取り組み」はこちら

ごみを減らして実現!

最終処分場の延命化

と

ごみ処分費用削減

現在、一般廃棄物最終処分場(エコトピア山田)は、令和8年度末まで再整備を行っています。ごみを減らすことで、再整備により建設する**新最終処分場の埋立期間が長**くなります。

また、再整備期間中は、焼却残渣や埋立ごみの全量を民間事業者で最終処分(資源化・埋立)しているため、ごみ削減は、**処分費用の削減**にもつながります。

【新処分場の使用予定期間】 17年間

※1人1日あたりのごみ排出量が、今よりも減った場合

【再整備期間中の処分外部委託費】
約30億円(年間約5億円×6年)

再整備の詳細はこちら▶



容プラと製品プラの一括回収

令和3年11月、12月に、島内地区と安曇地区大野川区の皆さんにご協力いただき、容器包装プラスチックと製品プラスチックの一括回収を試験的に行いました。

令和5年度からは、全地区で一括回収を開始する予定です。

【製品プラスチックの例】

